

**GASBEE-建築(新築)2016年版**  
和産産業株式会社 舞鶴II工場

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版

欄に数値またはコメントを記入 ■評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体			
		<b>Q 建築物の環境品質</b>						<b>2.7</b>	
<b>Q1 室内環境</b>			<b>0.30</b>		-		<b>2.6</b>		
<b>1 音環境</b>		<b>2.1</b>	0.15		-		<b>2.1</b>		
1.1 室内騒音レベル		<b>3.0</b>	0.40		-				
1.2 遮音		<b>1.8</b>	0.40		-				
1 開口部遮音性能		<b>1.0</b>	0.60		-				
2 界壁遮音性能		<b>3.0</b>	0.40		-				
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)			-		-				
4 界床遮音性能(重量衝撃源)			-		-				
1.3 吸音		<b>1.0</b>	0.20		-				
<b>2 温熱環境</b>		<b>2.7</b>	0.35		-		<b>2.7</b>		
2.1 室温制御		<b>2.5</b>	0.50		-				
1 室温		<b>3.0</b>	0.38		-				
2 外皮性能		<b>1.0</b>	0.25		-				
3 ゾーン別制御性		<b>3.0</b>	0.38		-				
2.2 湿度制御		<b>3.0</b>	0.20		-				
2.3 空調方式		<b>3.0</b>	0.30		-				
<b>3 光・視環境</b>		<b>2.4</b>	0.25		-		<b>2.4</b>		
3.1 昼光利用		<b>3.0</b>	0.30		-				
1 昼光率		<b>3.0</b>	0.60		-				
2 方位別開口			-		-				
3 昼光利用設備		<b>3.0</b>	0.40		-				
3.2 グレア対策		<b>1.0</b>	0.30		-				
1 昼光制御		<b>1.0</b>	1.00		-				
3.3 照度		<b>3.0</b>	0.15		-				
3.4 照明制御		<b>3.0</b>	0.25		-				
<b>4 空気質環境</b>		<b>3.0</b>	0.25		-		<b>3.0</b>		
4.1 発生源対策		<b>3.0</b>	0.50		-				
1 化学汚染物質		<b>3.0</b>	1.00		-				
4.2 換気		<b>3.0</b>	0.30		-				
1 換気量		<b>3.0</b>	0.33		-				
2 自然換気性能		<b>3.0</b>	0.33		-				
3 取り入れ外気への配慮		<b>3.0</b>	0.33		-				
4.3 運用管理		<b>3.0</b>	0.20		-				
1 CO <sub>2</sub> の監視		<b>3.0</b>	0.50		-				
2 喫煙の制御		<b>3.0</b>	0.50		-				
<b>Q2 サービス性能</b>			<b>0.30</b>		-		<b>2.9</b>		
<b>1 機能性</b>		<b>2.5</b>	0.40		-		<b>2.5</b>		
1.1 機能性・使いやすさ		<b>2.3</b>	0.40		-				
1 広さ・収納性		<b>3.0</b>	0.33		-				
2 高度情報通信設備対応		<b>1.0</b>	0.33		-				
3 バリアフリー計画		<b>3.0</b>	0.33		-				
1.2 心理性・快適性		<b>2.3</b>	0.30		-				
1 広さ感・景観		<b>3.0</b>	0.33		-				
2 リフレッシュスペース		<b>3.0</b>	0.33		-				
3 内装計画		<b>1.0</b>	0.33		-				
1.3 維持管理		<b>3.0</b>	0.30		-				
1 維持管理に配慮した設計		<b>3.0</b>	0.50		-				
2 維持管理用機能の確保		<b>3.0</b>	0.50		-				
<b>2 耐用性・信頼性</b>		<b>2.7</b>	0.30		-		<b>2.7</b>		
2.1 耐震・免震・制震・制振		<b>3.0</b>	0.50		-				
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		<b>3.0</b>	0.80		-				
2 免震・制震・制振性能		<b>3.0</b>	0.20		-				
2.2 部品・部材の耐用年数		<b>3.0</b>	0.30		-				
1 躯体材料の耐用年数		<b>3.0</b>	0.20		-				
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		<b>3.0</b>	0.20		-				
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		<b>3.0</b>	0.10		-				
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		<b>3.0</b>	0.10		-				
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		<b>3.0</b>	0.20		-				
6 主要設備機器の更新必要間隔		<b>3.0</b>	0.20		-				
2.4 信頼性		<b>1.6</b>	0.20		-				
1 空調・換気設備		<b>1.0</b>	0.20		-				
2 給排水・衛生設備		<b>1.0</b>	0.20		-				
3 電気設備		<b>1.0</b>	0.20		-				
4 機械・配管支持方法		<b>3.0</b>	0.20		-				
5 通信・情報設備		<b>2.0</b>	0.20		-				

3 対応性・更新性			3.6	0.30		-	3.6
3.1 空間のゆとり			5.0	0.30		-	
1 階高のゆとり		軒高さ:10.291m ※断面図参照	5.0	0.60		-	
2 空間の形状・自由さ		壁長さ比率=212.67m/2532㎡=0.08(WC部を除く) ※別図参照	5.0	0.40		-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30		-	
3.3 設備の更新性			3.0	0.40		-	
1 空調配管の更新性			3.0	0.20		-	
2 給排水管の更新性			3.0	0.20		-	
3 電気配線の更新性			3.0	0.10		-	
4 通信配線の更新性			3.0	0.10		-	
5 設備機器の更新性			3.0	0.20		-	
6 バックアップスペースの確保			3.0	0.20		-	
Q3 室外環境(敷地内)				0.40		-	2.7
1 生物環境の保全と創出			3.0	0.30		-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40		-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.0	0.30		-	2.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			2.0	0.50		-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			2.0	0.50		-	
LR 建築物の環境負荷低減性							3.4
LR1 エネルギー				0.40			4.1
1 建物外皮の熱負荷抑制			-	-		-	-
2 自然エネルギー利用			3.0	0.13		-	3.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEIm] = 0.25	5.0	0.63		-	5.0
4 効率的運用			2.5	0.25		-	2.5
集合住宅以外の評価			2.5	1.00		-	
4.1 モニタリング			3.0	0.50		-	
4.2 運用管理体制			2.0	0.50		-	
集合住宅の評価							
4.1 モニタリング							
4.2 運用管理体制							
LR2 資源・マテリアル				0.30			2.6
1 水資源保護			2.2	0.20		-	2.2
1.1 節水			1.0	0.40		-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60		-	
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70		-	
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30		-	
2 非再生性資源の使用量削減			2.6	0.60		-	2.6
2.1 材料使用量の削減			3.0	0.10		-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20		-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20		-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		-	1.0	0.20		-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			3.0	0.10		-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			3.0	0.20		-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20		-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30		-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70		-	
1 消火剤			-	-		-	
2 発泡剤(断熱材等)			3.0	1.00		-	
3 冷媒			-	-		-	
LR3 敷地外環境				0.30			3.3
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出率63%	4.4	0.33		-	4.4
2 地域環境への配慮			2.5	0.33		-	2.5
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25		-	
2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50		-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25		-	
1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25		-	
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25		-	
3 交通負荷抑制			3.0	0.25		-	
4 廃棄物処理負荷抑制			3.0	0.25		-	
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33		-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40		-	
1 騒音			3.0	0.33		-	
2 振動			3.0	0.33		-	
3 悪臭			3.0	0.33		-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40		-	
1 風害の抑制			3.0	0.70		-	
2 砂塵の抑制							
3 日照阻害の抑制			3.0	0.30		-	
3.3 光害の抑制			3.0	0.20		-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			3.0	0.70		-	
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30		-	